

## 東京都 豊島区

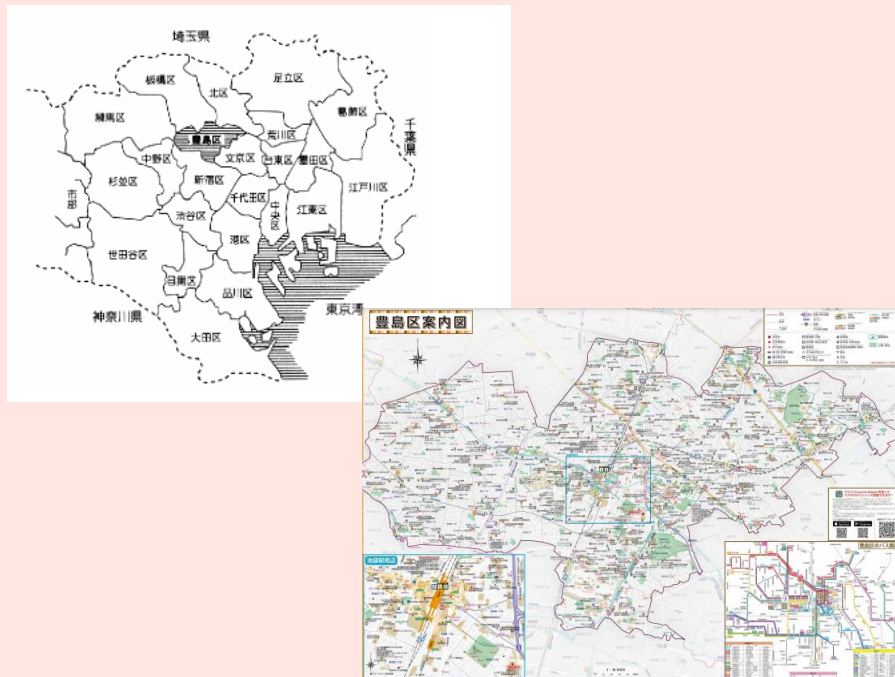
### 障害者地域支援協議会を活用した 医療・保健・障害の連携づくり

豊島区では、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた「協議の場」として、障害者地域支援協議会（自立支援協議会）を活用している。当事者・支援者・事業者のほか、区（障害部門・保健部門）・医療・看護の関係者が集まり、生活支援に向けた課題の整理を行っている。

# 1 自治体の基礎情報

## 取組内容

### 東京都豊島区



豊島区は東京23区の西北部に位置し、東は文京区、南は新宿区、西は中野区・練馬区、北は板橋区・北区に隣接しています。面積は13.01平方キロメートルで、23区中18番目の広さです。

人口は、令和4年4月時点で約28万人です。

## 基本情報（自治体情報）

障害保健福祉圏域数（R4年4月時点）	1	か所		
市町村数（R4年4月時点）	1	市町村		
人口（R4年4月時点）	283,595	人		
精神科病院の数（R2年4月時点）	3	病院		
精神科病床数（R2年4月時点）	0	床		
入院精神障害者数 （R2年6月時点）	合計	340	人	
	3か月未満（%：構成割合）	81	人	
		23.8	%	
	3か月以上1年未満 （%：構成割合）	75	人	
		22.1	%	
1年以上（%：構成割合）		184	人	
		54.1	%	
	うち65歳未満	59	人	
		125	人	
退院率（R●年●月時点）	入院後3か月時点	-	%	
	入院後6か月時点	-	%	
	入院後1年時点	-	%	
相談支援事業所数 （R4年4月時点）	基幹相談支援センター数	1	か所	
	一般相談支援事業所数	4	か所	
	特定相談支援事業所数	21	か所	
保健所数（R4年4月時点）	1	か所		
（自立支援）協議会の開催頻度（R3年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	2	回/年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有・無		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R2年4月時点）	都道府県	有・無	-	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	/	障害圏域数
	市町村	有・無	1 / 1	市町村数

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

### 〈精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた事業計画〉

#### 1. 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置

保健関係者・医療関係者・福祉関係者・当事者及び家族等を委員とした部会を設置し、協議を行う。

#### 2. ピアサポートの活用に関わる事業

ピアサポーターを養成するため、精神科病院の入院等経験者がピアサポーターとして活動するための知識や技能を修得するための養成研修を実施する。

#### 3. アウトリーチ支援に係る事業

精神科医療の受療中断者や自らの意志では受診が困難な精神障害者、入退院を繰り返す精神障害者等の地域生活定着のために、医療と生活の支援の両方を包括的に、かつ、必要な時に迅速にかつ十分な時間をかけて提供する。

#### 4. 精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に係る事業

豊島区障害者地域支援協議会「精神障害者包括支援部会」内に研修グループを立ち上げ、研修会を実施する。

#### 5. 入院中の精神障害者の地域生活支援に係る事業

精神科病院に入院している精神障害者の地域生活への移行を支援し、安定した地域生活の実現を図ることを目的として、精神科病院の長期入院者に対し退院の動機づけ支援を行う。

### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

#### 〈これまでの経緯〉

- 地域移行に関するアンケート実施(平成29年度)  
→医療機関に対し、長期入院者に対する実態調査を実施
- 協議の場として「豊島区障害者地域支援協議会 精神障害者包括支援部会」を設置(令和2年度)  
→保健・医療・福祉関係者を含めた協議会の設置
- 精神障害にも対応した包括ケアシステム構築支援事業(令和4年度)  
→広域アドバイザーのアドバイスを受けながら、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和3年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R3年度当初)	実績値 (R3年度末)	具体的な成果・効果
障害者地域支援協議会 精神障害者包括支援部 会(協議の場)の回数	2回	2回	・地域資源の整理 ・地域課題の洗い出し ・精神福祉のサービス 等をまとめたガイドブッ クの作成開始

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

## 【特徴(強み)】

区内に地域活動支援センターが12箇所(I型1箇所、II型2箇所、III型9箇所)あり、地域の方が気軽に利用できる「場」が多くある。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
長期入院者の退院促進	事業概要シープレットを刷新し、広報活動をさらに活発化する。	行政	事業の周知活動
		医療	退院を希望される方を地域へつなぐ
		福祉	退院前・退院後に安心できる居場所・相談先
		その他関係機関・住民等	住まい確保への協力
包括ケアシステム構築に向けた地域との課題共有	研修会の実施	行政	研修会の企画
		医療	研修会を通じた、地域課題の確認・地域交流
		福祉	研修会を通じた、地域課題の確認・地域交流
		その他関係機関・住民等	研修会を通じた、地域課題の確認・地域交流

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和4年度末)	見込んでいる成果・効果
①精神障害者包括支援部会(協議の場)の開催	—	2	関係者の繋がりを作り、地域課題を共有する
②研修会の実施	—	1	あるべき地域の姿を共有する

## 6

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた  
今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R4年4～5月	委員の選出	地域支援協議会精神障害者包括支援部会委員の選出
R4年7月	広域ADとの打ち合わせ	区担当者と広域ADによる、現状の共有等
R4年8月	部会の開催(第1回)	精神障害者包括支援部会(協議の場)開催
R4年9月～ 10月	他自治体の実態調査	広域AD及び都担当者への聞き取りも含めた、先行自治体の例を調査
R4年12月	部会の開催(第2回)	精神障害者包括支援部会(協議の場)開催
R5年1月	研修会の実施	先行自治体担当者等を講師に迎えた研修会の実施
R5年2月～3 月	次年度に向けた計画の策定・見直し	事業の効果測定、次年度に実施する事業の確認